

敬和学園大学と地域社会を結ぶコミュニケーション誌

KEIWA

COLLEGE REPORT



第27号

〈JULY 2001〉

発行/敬和学園大学広報委員会



CLOSE UP

いまどきのことば 上野恵美子

創立十周年記念式典並びに記念祝賀会 人気授業をサーチする

卒業生は今

日本語・日本文化プログラム

著書紹介／2002年度入試のご案内

はじめまして／国際シンポジウム

2000年度決算及び2001年度当初予算

2001年度後援会総会／ゼミ紹介

人文社会科学研究所開所式

学事予告／寄付者ご芳名

2001

数年前から、キャンパス内でキジが確認されていましたが、今年春につがいで卵を温めている巣を見つけました（写真上）。写真下は、親鳥が留守の時の卵です。無事に雛が生まれ、親子揃って散歩している光景が見られる日を楽しみにしています。



もくじ

いまだきのことば	上野恵美子…… 1	はじめまして	宇田川潔 ……10
創立10周年記念式典並びに記念祝賀会…… 4		国際シンポジウム ……10	
人気授業をサーチする…… 6		2000年度決算及び2001年度当初予算 ……11	
卒業生は今 …… 7		2001年度後援会総会 ……12	
JCLP—日本語・日本文化プログラム …… 8		ゼミ紹介	田中利幸……12
著書紹介 …… 8		人文社会科学研究所開所式 ……13	
2002年度入試のご案内 …… 9		学事予告・寄付者ご芳名 ……13	

<表紙> 安藤唯一「御岳湖」

(安藤司文 本学教授 お父上 日曜画家 画集「表象を描く」から)

いもぎものハズビ

教授 上野 恵美子



「ことば」を見る目

「ことば」が世の中で話題になることは珍しくはありません。朝日新聞は「ニッポンのことば」という特集の第一部へ何が起きているかを一月に六回掲載し、五月に第二部「国際化」の中で五回掲載しました。五月六日の日曜版の「二〇〇一年旅する記者五〇人」は「英語の道」でした。投書欄にもことばに関するものはよく見られます。インターネット上でも、ことばに関する議論はいろいろ行われています。

文化庁の調査（平成十一年）によれば、今のことは乱れていると感じる人の割合は八五・八%なのだそう。現在私はこの調査についてこれ以上のことを知りませ

るので、回答者の年齢層その他によって捉え方に違いがあるのか、具体的にどのような現象を乱れとして捉えているのか、わかりません。けれども、ことばが変化しゆくことを意識し、しかもそれを「乱れ」と捉えるのは、十八世紀英国で辞書を作ったサミュエル・ジョンソンならずとも、ですね。

私の英語学演習を履修している二年次生十三名に、どう思うかきいてみましたら、「乱れていると思う」と答えたのは八名、「乱れているとは思わない」ことばが変わったのは時代の流れが変わってきたから。ことばが変わるのは当たり前が一名でした。三名は、変化するのを当たり前のことと捉えながら、「乱れ」と感じる現象もあるとしていました。ここには、ことばの变化を捉える二つの視点があります。ひとつは変化をそのままに認めること、もうひとつは規範と照らし合わせてとらえることです。規範については、自分自身の規範で他者のことばを乱れていると感じる場合、他者とは自分より若い人たち（たとえば高校生）である傾向があり、世の中で規範と考

えられているものによって判断するときには自分のことばも乱れていると捉える傾向があります。「きちんとしたことば」を話すお手本のように捉えられている人たちが（NHKのアナウンサーなど）の一部に最近みられることばの違いを乱れとする意見もありました。乱れていると感じる言語現象としては、いわゆる若者ことばや敬語表現などがあがりました。

私自身は流行語や新語、若者語をふだん使う方ではありませんし、知識をたくさん持っているわけでもありません。ふだんの情報源が限られていますし、実は、十代のころでさえ、そういうことばを巧みに使うことはできなかったのです（なんとなく気後れしてしまうのです）。それに、家でうかつに使うと、ことばの違いにうるさい祖母に叱られるということもありました。

それでも、英語という言語を研究することになって、母語である日本語について、周囲で起きていることを意識することも多くなりました。使われている社会で生活していますので、ことばの使用に影響を与えている世の中の微妙な雰囲気も感じ取ることができそうです。それで、変化し今あることばの例をいくつか取り上げ、言語研究を行う者の目から見てもよいと思います。言語研究者

の目から見るといのは、これが正しい言い方だとかこのように使うべきだといった規範を与えることではなく、事実を捉え、その背景にある要因を考えたりするということです。

一使用者としての私にはもちろん規範はあつて、自分のことばの使用について判断します。他人のことばについて、間違つていと思うこともありますし、世の中で一般的になった表現でもそういう言い方はきらいだと思つてもあります。自分の子供に対しては、ことば遣いを訂正したり、あることばを口にするのを禁じたりすることもあります。一方で、現時点では標準的でない判断している表現でも自分で使つてしまつていふこともあります。また、間違つた使い方をしていた、あるいは意味を間違つて捉えていたことに気づくこともあります。(気づかないでいることも、多分、いろいろあることでしょう)。

ことばの変化

今のことばを乱れていると思う人の比率が高いことには触れましたが、「ことばは変化する」ということにはさまざまタイプのものが含まれ、変化のすべてが「乱れ」として捉えられるわけではありません。ものの名称が和語・漢語から外来語に置き換わるなど、以前とは異なる語を使うようになり、古い語が消えていく例はとてつもなくたくさんあります。たとえば「匙」という言い方は減多に聞かなくなりました。日本語の表現があるのにやたら外来語由来の表現(カタカナ語)が用いられることに違和感のある人、聞いてわからず困惑する人

はいても、これを「ことばの乱れ」ととらえることは比較的少ないと言えるでしょう。ここでは二つの現象をとりあげてみます。

解釈ちがい

語句の意味が本来とは全く異なるように解釈され、場合によっては反対の意味で使われるようになることがあります。「やおら立ち上がる」というのはどのような動作でしょう。『日本語大辞典』(講談社)の「やおら」の項には、へゆつくりと、静かに落ち着いて動作を始めるさま。おもむろに。ゆうゆうと。「にわかには。突然」等いきなり動作を始めるさまの意味に用いるのは本来は正しくない」と書いてあります。この書き方は正しくない解釈がある程度広まっていることを意味します。実は、最近たまたま目にしたNHK放送文化研究所が出しているものに、この語のことが書いてあつて、それで私は、はずかしいことに、「本来は正しくない」方の理解をしていたことに、気づいたのです。

具体的な誤用について、どこから起きたというようなことは、定かではありませんが、ある程度広まった誤用には、いくつの特徴があるように思えます。たとえば、「広まった」とはいえ、その表現自体はそつ日常的に使われるものではないこと、誤用を誘う類推がはたらきやすい要素があること、比喩・たとえを含む場合、その表現で思い浮かべることが時代とともに変わった、ないしは減多にないものとなつてしまつて典型的な情景を思い浮かべられないこと、などが考えられます。「気が置けない」

をへ気遣いする必要がない、遠慮がない」とは全く逆のことにとらえてしまつことには、否定辞「ない」の存在が多少とも作用しているように思えます。「かわいい子には旅をさせよ」はへ子供が本当にかわいいかつたら、甘やかさずに世の中の苦しみやつらさを経験させた方が将来のためによい『大辞林』とありますが、最近はいくらも違つた解釈をする人がいるのだそうです。現代にあつては、「旅」の一般像は楽しいことであり、つらい、苦しい、途中で病気になるつたりするかもしれない、もしかしたら死ぬことだつてありうる、とは考えにくからでしょう。乱れと意識されるのは、誤用する人がある程度ふえて世の中に知れた段階で、本来の用法が駆逐されるまでになつては、もはや乱れともみなされません。

敬語は減つた?

敬語表現が乱れているといった、先に述べた私の学生たちの指摘は、主として「うまく使えない」「先生や先輩などにあまり敬語を使わないで話している」というものでした。大学二年次くらいだと、自分が接する相手や見聞きする範囲が限られるということでしょうか。敬語を使うかどうか、使うならばどの程度の敬語にするかという判断には、自分と相手の関係の判断が関わるので、使わないのであれば、相手をそのようにみなしたということ、それが一般的になつてきたのであるならば、社会のありようが變つてきたということでしょう。上下の意識があまりはたらかなくなつた部分は確かにあります。が、敬語が一般的に用いられなくなつたかといえ、そうではなく、

CLOSE UP

私は、昨今の世の中には、一見丁寧に見えることは遣いが過剰なほどに使われているように感じます。

「(さ)せていただきます」

最近この表現をとってもよく耳にします。いつ頃からなのか、はつきりしませんが、一九九六年には既に、これを連発することについての記事があります。「連発」されるのは、書かれたものよりは音声で、それも「いただく」という敬語表現(謙譲語)を含むため、多少ともフォーマルな場面や立場の異なる人を前にしてのことであることが多く、友人間の会話などで聞くことは滅多にありません。「させていただく」は本来、「(そうしてもよい)」という恩恵/許可を得て何かを「させてもらう」ことを、恩恵/許可の与え手を高めて述べる(菊地)表現で、

(1) (学生が教師に) すみませんが、先生の本を使わせていただけませんか。
(菊地)

などが本来的な使い方です。ところが「実際に必ずしもそうではなくても、相手から恩恵を得ているかのように捉えるほうが礼にかなう(菊地)」という発想から、恩恵/許可と「捉えられる」場合にも使用され、さらには恩恵/許可とは全く捉えられない場合にまで拡張され、単に「何かを「する」ことを、自分を低めて述べる(菊地)だけの用法になってきているのが現在の状況のようです。かくして、

(2) (パーティの出席の返事で) 出席させていただきます。(菊地)
(3) (会議の司会者) それでは会議を始めさ

せていただきます。

(4) (商品を売り込もうとする人) 五千円でご用意させていただきました。

(5) (業者が製品の説明を行う) それでは、ご説明させていただきます。

(6) (スーパールの放送) 明日は定休日ですのでお休みにさせていただきます。

(7) 努力させていただきます。

(8) 陳謝させていただきます。

のように「させていただきます」はあくまで「価値」は目減りしていくものです。本来丁寧であった表現は、定着するにつれて丁寧であるとは感じられなくなり、そこで、さらに丁寧な別の表現を求め、あるいは丁寧さの要素をどんどん重ねていくことになり。たとえば、授受を表す動詞(補助動詞も含む)「くれる」「もらう」と並ぶのは「やる」で、「あげる」は丁寧なことば(尊敬語)なので、「犬にえさをあげる」とか、他人に自分の子供のことを言うときに「自転車を買ってあげる」とは言わないというのが規範ですが、「あげる」が適切である、「やる」では乱暴な感じがするという人がふえていると言われるようになったのは、もう随分前のことです。右記(4)には抵抗感のある方もいらっしゃると思ひます。(4)(5)で「ご」を付けるのは誤り)「させていただきます」の使用者はただ丁寧なものと言っているつもりで、世の中一般でもこれは丁寧なことばなのだからということで、あまり「乱れ」の話には登場しないように思いますが、過剰な丁寧表現は中身が薄くなるような感じがします。一使用者としての私は、過剰な

「させていただきます」を聞くと、心の中で「そーゆーのはサセテイタダクことじゃない」とつぶやいています。

「ら抜きことばとかあるじゃないですか」

昨今とても目立つことば遣いは、他にもいろいろあります。いわゆる「ら抜きことば」、「じゃないですか」(使わない人は、そんなこと知るもんかと思う)、「とかか」(列挙するものなしに使う)、「うみたいな」(たとえばではなく、単に語尾)など。「ら抜きことば」については、私は、今のところ書きことばには使わないようにしています。が、この形は可能形を受身その他の「られる」と区別して表す合理的な形だと捉えています。むしろ、世の中でこの形はいけなと言われていることを意識していると思われる人々が、「行ける」「作れる」などの可能動詞も避けて「行かれる」「作られる」と言い換えているのをききますと、これは過剰反応だと思えてきます。語尾の表現は、人間関係についてのある種の姿勢の反映であると捉えています。一使用者としては、好きでない表現もいろいろありますが、総じて「いまどきのことば」は今の世の中のものありようを映し出していると思ひます。

参考文献

菊地康人(一九九七)「変わりゆく」
「させていただきます」『言語』六月号、四〇―四七。

創立十周年記念式典並びに記念祝賀会

敬和学園大学は、一九九一年四月に開学し、本年十周年を迎えました。

二〇〇一年四月二十一日(土)には、創立十周年記念式典並びに記念祝賀会が行われました。

創立十周年記念式典



創立十周年記念式典は、約160名の方々にご臨席いただき、キリスト教の礼拝形式で本学 T・A・パーム館において行われました。

うございました。皆様のご支援とご協力のもと創立十周年を迎えることができ感謝いたします。

阿賀北で最初の四年制大学として、また、地域に開かれた大学として社会に貢献してまいりました。社会的問題を多く抱えている今日、心の教育を一層大切にしていきたいと思えます。

北垣宗治 学長の式辞

引き続き、北垣学長が式辞を述べました。

遠方より多くのの方々にご出席いただき、十周年記念式典を行うことができたことは無上の喜びです。設置申請以来の多大の苦難を多くの方々のご支援で乗り越え、十年を迎えることができました。十年間は、大学の歴史としては短いものですが、キリスト教にしっかりと立脚して学生一人ひとりを育む教育に専念し、グローバルな観点に立ちつつ、この地域の生涯教育にも貢献する大学として、次の十年を走り通したいと願っています。



コーラス「聖籠の杜」

聖籠町の町民コーラス・グループ「聖籠の杜」の皆さんが、とてもきれいな歌声で、歌劇「カバレリア・ルスチカーナ」(マスカーニ作曲)より、アヴェ・マリア、ほか三曲でもって式典に華をそえてくださいました。



新潟県知事の祝辞

所用のため欠席された平山征夫新潟県知事の代理として、新潟県出納長の川上忠義様から祝辞を頂戴しました。

敬和学園大学 創立十周年記念式典



敬和学園大学は、キリスト教主義教育に基づく教養豊かな人格教育を実践しています。二十一世紀を迎え社会経済が大きく変革し、教育においても様々な改革が実施されています。敬和学園大学も専門知識の提供など社会への貢献も期待されています。今後とも、地域に開かれた大学として積極的に活動を広げていただきたい。

新発田市市長の祝辞

助役の新田幸雄様が片山吉忠新発田市市長の祝辞を代読してくださいました。県北の高等教育振興と町づくりのための人材育成の重要な拠点として四年制大学が

後宮俊夫 理事長の式辞



讚美歌、聖書朗読、祈禱のうち本学園後宮俊夫理事長からの式辞がありました。

創立十周年記念式典に多くの皆様がご臨席くださりありがと

誘致されました。その後、体育館の新築や、講義棟の増築等施設、設備がますます充実しました。特色ある大学へ成長し、地域に欠かせない、地域に開かれた大学として貢献しています。大学教育の果たすべき役割がますます大きくなっています。創造性に富み、二十一世紀の社会に参画できる人材の育成を期待します。



聖籠町長の祝辞

助役の駒田文雄様が、聖籠町渡邊広吉町長の祝辞を代読してくださいました。



敬和学園大学 創立十周年記念式典

開学以来、聖籠町における公開講座、ボランティアなど地域に開かれた大学として親しまれています。

時代に流されない価値観の養成を实践する大学としてさらに躍進されますことを期待いたします。

キリスト教学校教育同盟代表の祝辞

キリスト教学校教育同盟を代表して、東京女子大学長船本弘毅先生から祝辞をいただきました。

敬和学園大学は、キリスト教学校という

だけでなく独自の使命を持った大学です。知的な教育に偏っている日本の大学の中で、敬和学園大学は心の教育を行っています。



名誉文化博士号受領者代表の祝辞

名誉文化博士号受領者の代表として、財団法人日本国際問題研究所理事長の小和田恆博士から祝辞をいただきました。

今日の日本は、精神の危機に直面しています。日本人または日本の社会が、これまでの道を謙虚に反省して、何を改善しなければならぬのか考えてみる時期にきています。最も大切なことは、一人ひとりの魂を養い、精神を強靱なものとし、開かれた心をもつ人間を作ることです。

日本と英国の大学で学び、米国の大学で教鞭をとった経験から、大学教育の本質とは、教師と学生が一体となり知的な共同体を



創り、その間で人格と人格をふれあわせることだと考えています。敬和学園大学がまさにそういう見識をもち、人を創ることに心を傾けて歩んでいることは、称賛に値します。

毎日変化し進歩している世界に適合でき、地域社会のため、日本のため、世界のために働くことができる若者を育てられる教育研究機関になることを心からお祈りします。

創立十周年記念祝賀

記念式典終了後、会場を新発田ベルナールに移し、記念祝賀会が催されました。

約一六〇名の方が本学の十周年を祝ってくださいました。



人気授業をサーチする

クイツツ・ア・グッド・バーゲン

科目等履修生 小出 勉

長年「塾講師」をしていた私にとってここ数年「英語」に対する懸念材料が二つありました。それは「テスト対策の英語教育」だけでいいのか、という疑問。そして伸びない自分の英語力に対する苛立ちでした。

そんな中、兼ねてより面識のあった本学のコンラッド・マツモト先生がデイベートのクラスを開かれるとうかがい、彼に「貴方の授業を取ろうと思っているのだが」と洩らしたところ「本当かい。まだ間に合うよ。歓迎するし、グッド・バーゲン（お買得）だよ」との返事。後は日本的根回しなどなく、アメリカ的に話が進み、私はその三日後には彼の授業を受講することになっていたのです。

さて、コンラッド先生の授業は期待に違わず次のような素晴らしいものでした。

① 授業に起承転結のストーリーがありスピード感溢れる飽きない授業である。

毎回とりあえずデイベートと関係ないゲームで始まるのが普通で、この導入で我々の頭が日本語モードから英語モードに変わります。次に教科書を使いデイベートの理論的側面を



補います。本題のデイベートに

関しては大体先生が用意されたプリントで行います。皆の頭がオーバーヒートしかけた頃合を見計らって最後にまたゲーム感覚のものを行い頭のクーリングをします。毎回惜いまでの演出、豊富な持ちネタ、一人ひとりへの気配りなどコンラッド先生のプ

OAW is Our Adventure World

英語英米文学科四年 佐藤 照美

私は英語英米文学科四年に在籍しています。今年新たに開設されたOAW (On-line Advanced Writing) で学び始めて、これまでに感じた事などを簡単ですが、皆さんにお伝えしたいと思います。

OAWは、レベルⅢまでで身につけたライティング技能を用いて、自分の意見、経験、調査、研究などに関する課題やフォーラムを通じ、さらに語彙力や表現力を高めていく授業です。授業といっても、決められた日時に決められた場所でのクラスメイトとともに学ぶスタイルではありません。OAWでは全ての作業をオン・ラインで行っています。

今までにないこのユニークな授業スタイルは、特に何かと多忙な四年生にとって、自分の都合に合わせて学んでいける点ではかなりありがたいかもしれません。それ以上に、クラスのペースに合わせて一斉に展開されていく他の授業と比べて、OAWは各

口意識と情熱に驚嘆を隠せません。

② 授業に和やかさ、厳しさが両立する。教室にはコーヒーや菓子を用意され授業は常にリラックスマードが流れますが、一方で宿題と出席日数が単位取得の必須条件です。授業は全て英語、全員参加の心地よい緊張感も彼の授業の特徴でしょう。

喜々として帰ってくる日と、肩を落として帰ってくる日と半々ですが、一年無欠席で最初にあげた二つのモヤモヤを払拭することを目標に頑張ります。彼の授業は間違いなくグッド・バーゲンです。

個人が自分のペースで自ら選択した課題をじっくり取り組める点で大変魅力的だと思います。

しかし、自分自身のペースや興味、関心、積極性を維持して取り組んでいくことは決して容易なことではありません。全てを自分で作り上げていく、それはこの授業の最大のおもしろさであり、難しさであると言えます。

私もOAWの授業方法に慣れるまでは戸惑うこともしばしばありましたが、今では自分なりにやりがいを感じています。レベルⅢを終了した二次以降、私は自分のライティング能力を高められる授業を探していました。卒業する前にこのOAWに出会えたことは、私にとって本当に幸運なことでした。今後はただスキルアップを目指すだけでなく、たくさんの新鮮で貴重な体験を通して、ライティング本来のおもしろさ、深さ、難しさを探求していきたいと考えています。

卒業生は今

「ボランティアで活躍の高橋美香さんと二期生

新潟市本町通りのパブ・レストラン「鳥の歌」に一期生の高橋美香さんは勤めています。

高橋さんは、ホームレスの人たちの支援活動を行うボランティア組織「越冬友の会」の新潟事務局長でもあります。彼女の周りには、いつも人が集まります。この夜（四月二十八日）も、続々と敬和卒業生が「鳥の歌」に集合。同窓会のようにでした。

松崎洋子教授も「美香ちゃんは周りの人にさりげなく気を使ってあげることができて、それがすごく自然体。彼女から、私自身学ぶことが多い」とその人柄を絶賛しています。



その自然体の秘密は何でしょう？
「自分が居心地の良い場所をかきわけると、自分には自信があります。自分の価値観で行動している

からかもしれない。両親に「世間の価値観だけでは測れないものがある」と常に言われて育ちましたから。」

同席していた沖田寛道さん、中沢大輔さん（二期生）も「彼女の周りにはいつも人の輪ができています。こんな風が集まること

卒業後の自分を振り返って思うこと

二〇〇〇年度卒業生 小池 豊

敬和学園大学を二〇〇〇年の春に卒業して、もう一年が過ぎました。そして今自分の過去一年間を振り返ると「とても慌しい一年を過ごしてきたなあ」としみじみ感じさせられます。

卒業後、仕事の決まっていた私は期待に胸を躍らせて、黙々と仕事に取り組みました。しかし、二カ月くらい経ったある日、「自分のやりたかったことは本当にこれだけよかったのだろうか」と自問するようになり始めました。そして、とうとう三カ月という短期間で仕事を辞めてしまいました。けれども、そのとき初めて、本当に自分がやりたかった仕事はどんな仕事なのかをゆっくり考えることができました。それから、新たな目標（国家Ⅲ種試験に合格すること）を立てて、それを達成できるようにひたすら努力しました。

初めのうちは、「本当に仕事を辞めてし

ができるのも、彼女の人柄のおかげ」とコメント。

沖田さんは卒業以来、公立中学校の教諭（英語）として勤めており、この夜は寺泊からの参加でした。最近では「教えることの面白さ」がわかってきたといいます。一方、「コミュニケーション」についても一度学んでみたいという抱負を語ってくれました。（編集部）

まっぴりよかつたのだからか」という不安に駆られながらのスタートでした。しかし、六月に仕事を辞め、九月の試験に合格するためには、いつまでも考えているだけでは物事は進展して行かないので、とにかく三カ月間ひたすら試験勉強に取り組みました。その結果、無事に試験に合格することができました。今年の春からは長野県にある郵便局で働くことになり、がんばっている最中です。

今、振り返って思うことは、第一に訪れるchanceを逃さないために、決断する勇氣を持つことが大切であるということです。好機はなかなか訪れません。決断時期を誤るとchanceは逃げていってしまいます。第二に、自分なりの目標を立てて、それを達成するために努力することが重要であるということです。きちんとした目標を持つて努力する人は、必ず成功します。皆さん、若いうちは苦労してください。

日本語・日本文化プログラム

五月十四日から六月九日の間、敬和学園大学においてJCLPが実施されました。アメリカからの六人の留學生は四週間楽しく勉強し、敬和生と交流しました。彼らのホームステイには、新発田市と聖籠町の家族に参加していただきました。

プログラムの主な内容は、週十時間に及ぶ日本語のレッスンと日本の文化や生活に関するプレゼンテーションです。内容は、



生け花、書道、日本の映画やポップス、日本の法律や外国との関係など多岐に渡りました。週末には、弥彦神社、北方文化博物館、村上市、瀬波温泉、笹川流、白根市の

大風合戦などへフィールドトリップに出かけました。
バディ・システム (buddy system)、各留學生を日本人學生がサポート) で、日本語レッスンのヘルパーを務めた學生と留學生は特に交流関係を深め、授業後は、クラブやサークル活動、カラオケなどの「日本文化」をエンジョイしました。

(国際交流委員長 ジェームズ・ブラウン)

親愛なるリンダへ

五月十四日、初夏を想わせる暑い日に私たち家族は、アメリカ、バーモント州リッチモンドから来た一人の女子學生のホスト・ファミリーになりました。

「はじめまして、私の名前は、リンダ・ダーディックです。アパラチアン大学の二年生です。どうぞよろしく」とたどたどしい日本語ではありましたが、あなたは、しっかりと自己紹介をしました。あなたは、私たち家族の心配もよそに、日本の生活にどんどん慣れて行きました。寿司とか魚が大好きで、朝寝坊の得意な笑顔の素敵なおわい十八歳でした。七歳の息子、十一歳の娘ともいつの間にか打ち解け、本当に楽しそうでした。折り紙がとても上手で、素敵な毬を作ってくれました。時折私たちより日本人らしく振舞うこともあり、こちらの方が恥ずかしく思うこともあり、こちら私たちがもっと長くあなたと過ごしたかつたし、教えてあげたいことが、まだまだたくさんありました。四週間、とても短く、別れの日がとても悲しかったのです。でも、いつの日か再会できることを祈りつつ遠くよりあなたの成長を見守っています。



(佐藤 優子)

著書紹介

柴沼晶子 著

『現代英国の宗教教育とPSE』



先年同志社大学で行われた日本教育学会近畿地区研究会で『政教分離と宗教教育』をめぐるシンポジウムが開かれました。同研究会では三年連続で学校における宗教教育のあり方について研究していますが、この時私は公立学校における宗教教育について英国の例を紹介して日本の公立学校における宗教教育の可能性とその課題について発題する機会が与えられました。

近代の教育制度では、政教分離の原則から公立学校で宗教を教えない国が多くあります。例えば米国やフランスではこのことが厳密に守られており、公立学校で聖書を読んだりイスラム系の女子學生がスカーフをかぶることもこの世俗性の原則から問題となります。日本もかつて国家神道が学校教育を支配した苦い経験から、第二次世界大戦は日本国憲法や

2002年度入学試験のご案内

AO入学試験

面談を中心に入学希望者の適性を総合的に評価する入試制度です。「面談申込カード」と「志望理由書」に基づいて面談Ⅰおよび面談Ⅱを行い、出願書類と併せて合格を決定します。学力試験は行いません。

推薦入学試験

指定校推薦（専願制）と一般推薦（公募制）があります。どちらも学校長の推薦書が必要です。また、英語英米文学科を志望する場合は英語の評定平均値三・五以上が必要です。

特待生制度（公募制）

指定校推薦入試の枠で評定平均値四・五以上の志願者を対象にする特待生制度を創設しました。定員は各学科五名。入学金を除く授業料、施設設備費の全額を四年間免除します（ただし、二年度以降は大学が定める成績基準を満たす必要があります）。

一般入学試験

A日程、B日程、C日程および大学入試センター試験利用入試の四種類があります。

大学入試センター試験利用入試による奨学金

センター入試による入学者のうち、センター入試の成績が各学科の最高得点者に入学金および入学年度の授業料の半額を給付します。また各学科二位から十位までの入学者に入学金と同額を給付します。

2002年度入学試験概要

入試区分	学 科	募集人員	面談申込期間	試験日	合格発表	試験会場	選考方法
AO	英 語 英 米 文	15名	6月1日(金)	/	出願後1週間前後	本学	面談Ⅰ、面談Ⅱおよび出願書類(出願書類については一般入試に準ずる)
	国 際 文 化	15名	~3月30日(土)				
入試区分	学 科	募集人員	出願期間	試験日	合格発表	試験会場	選考方法
推薦	英 語 英 米 文	30名	11月1日(木) ~11月16日(金)	11月24日(土)	11月30日(金)	本学	面接、調査書、特別活動等
	国 際 文 化	30名	11月1日(木) ~11月16日(金)	11月24日(土)	11月30日(金)	本学	小論文、面接、調査書、特別活動等
一般	英 語 英 米 文	10名	1月8日(火) ~1月25日(金)	2月1日(金)	2月7日(木)	本学、新潟	英語(リスニング含む)100点、 国語100点、調査書100点
	国 際 文 化	10名	1月8日(火) ~1月25日(金)	2月2日(土)	2月7日(木)	本学、新潟、長岡 会津若松、鶴岡	英語(リスニング含まず)、 国語より1科目200点、調査書100点
	英 語 英 米 文	5名	2月18日(月) ~3月5日(火)	3月8日(金)	3月14日(木)	本学	面接100点、調査書100点
	国 際 文 化	5名	2月18日(月) ~3月5日(火)	1月19日(土) 1月20日(日)	2月7日(木)	/	英語200点、国語、地歴、公民の1科目より 1科目200点、調査書100点
	英 語 英 米 文	10名	1月8日(火) ~1月29日(火)	1月19日(土) 1月20日(日)	2月7日(木)	/	英語200点、国語、地歴、公民の1科目より 1科目200点、調査書100点
	国 際 文 化	10名	1月8日(火) ~1月29日(火)	1月19日(土) 1月20日(日)	2月7日(木)	/	英語200点、国語、地歴、公民の1科目より 1科目200点、調査書100点

問い合わせ先 教務課入試係 フリーダイヤル0120-26-3637

教育基準法で公立学校での宗教教育が禁じられています。

私は公立学校の宗教的中立性を原則としな
い英国(イングランド)の宗教教育の独特な
取扱いに興味を持ってきました。英国では公
立学校でも宗教教育が義務化されています。
英国の多文化現象が進んだ状況でも社会の変
化に応じた宗教教育のあり方を模索し、公立
学校での宗教教育をカリキュラムの中に位置
づけています。これは公教育制度の樹立(一
八七〇年)に際して宗教教育が争点となつた
歴史に由来します。時代が大きく変わり英国
の社会も多様な民族が市民権を得、様々な宗
教の信者がいるにもかかわらず、一九八八年
にサッチャー政権下で教育法が四十四年ぶり
に改正されたときも英国は宗教教育の義務化
を存続させました。もちろん社会的変化に伴
つて宗教教育の存続についても多く議論され
てきました。公立学校で宗教教育を行うこと
の意味とその可能性を模索するため、私はこ
の議論を追ってきました。

今回出版した本は宗教教育だけでなく、宗
教教育と密接な関係にある日本の道徳教育や
生活指導に対応する人格教育(パーソナル・
ソーシャル・エデュケーション、PSE)も扱っ
ています。英国の現代の教育を紹介されるこ
とは多いのですが、宗教教育やPSEはあまり日
本では知られていません。そのため内容がい
きおい説明的になってしまい、その点で不満
が残ります。しかしこの方面の研究をめざす
方々にとってこの本がいささかでもお役に立
つならば幸いです。

はじめまして

事務局長 宇田川 潔

四月より本学の皆様の仲間に加えていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

敬和学園大学に来る前は日商岩井とオリックスで三十九年間（うち海外十一年間）勤務していました。大学という全く違う環境で働くに当たり、敬和学園大学はどんな雰囲気なのだろうか、よく教師と事務局の仲がよくない大学があるとの話を聞くことがありました。敬和学園大学の雰囲気はどうなのだろうか、事務局は一定のペースで仕事はできるのだろうか、などなどいろいろ勝手に思いを巡らしていました。

ところが実際に仕事してみると、先生たちは親しみやすく、自由にモノが言え、事務所の中も明るく、大変いい雰囲気です。仕事ができることに感謝しています。この大



学なら高校生たちに「安心して来なさい。人間として最も大切なことが学べる場です。英語力を身につける（海外生活をした者として、この大切さがよく分かっている）ので」絶好の機会です」

と胸を張って薦めたいと今思っています。

新潟で生活するのは初めてです。

東京の喧騒の中で学生生活を送り、働いていた者として、こんなにいい環境の中で勉強ができる学生たちは幸せだと思っています。この地域はアメリカの地方都市の郊外に似た雰囲気をもっています。多少の不便さはあってもそれに優る点がこの地域には多くあると思います。

東京なら多少の人脈と知識はありますが、まだ、新潟に関する知識も人脈もありません。卒業する学生たちが東京で就職したいとの希望があるようでしたら、何らかの役に立たせていただきたいと願っています。

私の趣味はこれですと堂々とと言えるほどのものはありませんが、巾広い分野に興味があります。約五年半住んでいたトルコは大好きな国です。トルコのことを話し出したら止まりません。

学内外を問わず、出かけて行き一人でも多くの方にお目にかかり、親しくお話をさせていたただきたいと願っています。事務局長室のドアはオープンです。どうぞお気軽にお越しただきたく存じます。そして早く新潟県人の仲間に加えていただきたいと切に願っています。

国際シンポジウム 東北アジア歴史像の 共有を求めてII

来る七月十四日・十五日に「東北アジア歴史像の共有を求めてII」と題して、国際シンポジウムを開催します。

環日本海地域研究を志す新潟在住の研究者が中心となり一九九七年から環日本海研究ネットワークを組織し、各大学が持ち回りでフォーラムを開催してきました。本年度は本学が当番校となります。

来年四月から使用される文部科学省検定済社会科学教科書の内容をめぐって隣国との歴史認識のずれが問題になっています。このずれが今後の近隣諸国の関係を損ねる原因にもなりかねません。このシンポジウムは東北アジア地域の人々の歴史意識を再検討し、新たな共通認識をつくる礎になることを目的として開かれます。昨年度も同様のテーマでシンポジウムを開催し、大変好評を得ました。

海外ゲストとして、ロシアから国際関係研究所（モスクワ）のスラビンスキー氏、韓国から仁荷大学（仁川）の李啓煌副教授、中国から遼寧省档案館（瀋陽）の趙煥林副館長、黒龍江省社会科学学院（ハルビン）の歩平副院長、台湾から台湾師範大学（台北）の呉文星教授を招聘する予定です。

入場は無料です。事前申し込みなしでどなたでも自由に参加できます。

詳細は、本学助教教授松本ますみ (matsunoto@keiwa-c.ac.jp) まで。

二〇〇一年七月十四日（土）

新潟会場 十三時～十七時半

二〇〇一年七月十五日（日）

敬和学園大学 十時～十六時

二〇〇〇年度決算及び 二〇〇〇一年度当初予算

大学部門の予算及び決算を、消費収支計算書の大科目について昨年と同じ方法でお知らせいたします。

二〇〇〇年度決算

二〇〇〇年度決算は、予算上約三千万円の支出超過でしたが、決算では約五千九百万円の収入超過となりました。これは、収入面では、学生数が当初の予定数を上回ったことによる学納金の増収と補助金額が予算額を上回ったことが大きな要因です。支出面では、人事院勧告による人件費の支出減、経費の節約及び予備費を支出しなかったことなどで約三千九百万円ほど減少しました。

また、第二号基本金を五千万円計上しました。これは、二〇〇一年度の事業計画であるL1教室の増設及び土地購入資金の一部です。この結果、二〇〇一年度に繰り越す消費収入超過額は、八億九千二百十五万三千円となりました。

二〇〇一年度予算

二〇〇一年度当初予算は、収入面では、学生数の減少のため、学納金が昨年度より約九千八百万円の減収になります。学生数が一〇七名減の七四〇名としての予算です。寄付金には、十周年記念募金の二〇〇〇万円を含めて計上されています。基本金には、二〇〇一年度予定の事業費用約一億三千五百万円のうち昨年度第一号基本金に

組み入れた五千万円を除く、約八千五百万円を第一号基本金に計上しました。支出面では、十周年の式典及び記念誌出版費用などを管理経費に計上したので、昨年度より増額になりました。

以上のことから、本年度予算は、約六千八百万円の支出超過になります。これは、

2000年度消費収支計算書及び2001年度同予算書

(収入の部)

科 目	2000年度決算額	2001年度予算額	増 減
学生生徒等納付金	840,127,500	741,495,000	98,632,500
手 数 料	12,715,271	11,338,000	1,377,271
寄 付 金	21,332,879	48,374,000	△ 27,041,121
補 助 金	139,233,914	101,122,000	38,111,914
資産運用収入	11,250,326	9,178,000	2,072,326
事 業 収 入	189,000	150,000	39,000
雑 収 入	2,999,635	4,962,000	△ 1,962,365
帰属収入合計	1,027,848,525	916,619,000	111,229,525
基本金組入額	△ 119,518,329	△ 84,718,000	△ 34,800,329
消費収入の部合計	908,330,196	831,901,000	76,429,196

(単位：円)

(支出の部)

科 目	2000年度決算額	2001年度予算額	増 減
人 件 費	517,584,042	539,035,000	△ 21,450,958
教育研究経費	240,461,849	251,990,000	△ 11,528,151
管 理 経 費	70,014,515	83,221,000	△ 13,206,485
借入金等利息	16,788,420	15,782,000	1,006,420
資産処分差額	4,039,391	0	4,039,391
予 備 費	0	10,000,000	△ 10,000,000
消費支出の部合計	848,888,217	900,028,000	△ 51,139,783
当年度消費収入超過額	59,441,979		
当年度消費支出超過額		△ 68,127,000	
前年度繰越消費収入超過額	892,153,411	951,595,390	
翌年度繰越消費収入超過額	951,595,390	883,468,390	

(単位：円)

減価償却額に約一億千三百万円を計上しましたが、実際には四千五百万円しか積み立てられないということです。また、昨年度もご説明いたしました。法人本部経費のうち高等学校が負担する三百万円を除く約二千二百万円が大学からの支出となりますので約九千万円が不足することになります。

既に二〇〇二年度入試に向け動き始めていますが、今後ますます学生の確保と経費の節約に全学をあげて取り組む必要があります。

(報告 総務課長 長澤雄介)

二〇〇一年度 後援会総会

二〇〇一年度敬和学園大学後援会総会
が、新入生保護者を中心に約一五〇名の会
員が出席し、入学式後に開催されました。

総会では、二〇〇〇年度決算、二〇〇一
年度事業計画及び予算が提出され、満場一
致で承認されました。在学生数の減少によ
り会費収入が減少しているため、二〇〇〇
年度に支出予定だった大学十周年記念助成
金一千万円が、二〇〇一年度に繰り越され
ました。また卒業に伴い、会長はじめ役員
が下表のとおり改選されました。

後援会は、会費で運営されています。学
生数の減少に伴い会費収入も減少していま
す。会費を未納の方は、納入下さいますよ

収入の部

科目	2000年度予算	2000年度決算	2001年度予算
後援会費	35,000,000	31,700,000	28,500,000
寄付金	1,000	0	1,000
雑収入	50,000	106,575	50,000
繰越金	9,046,663	9,046,663	16,051,708
合計	44,097,663	40,853,238	44,602,708

支出の部

科目	2000年度予算	2000年度決算	2001年度予算
事業活動費	3,200,000	2,296,058	3,000,000
会議費	250,000	253,000	250,000
事務費	50,000	30,909	50,000
通信費	1,700,000	1,537,553	1,700,000
印刷製本費	1,800,000	1,540,350	1,800,000
手数料	50,000	9,345	20,000
学生クラブ補助費	3,700,000	3,014,000	3,800,000
アネックス維持管理補助費	800,000	700,000	700,000
学園祭補助費	1,500,000	1,450,000	2,000,000
教職員活動補助費	300,000	0	300,000
施設、設備、備品補助費	14,670,000	13,626,500	8,340,000
大学10周年記念助成金	10,000,000	0	17,000,000
旅費交通費	150,000	63,000	100,000
雑費	927,663	280,815	542,708
予備費	5,000,000	0	5,000,000
次年度繰越	0	16,051,708	0
合計	44,097,663	40,853,238	44,602,708

2001年度役員

職名	氏名	名
会長	海津 博	8回生保護者
副会長	尾川夕工子	8回生保護者
副会長	小林 眞一	10回生保護者
理事	津野奈津雄	10回生保護者
理事	酒井美峰子	11回生保護者
監事	高澤 正	8回生保護者
監事	岩槻 好子	9回生保護者

うお願いいたします。
また、この敬和カレッジ・レポートは、
後援会費用で作成、郵送されていることを
ご報告いたします。

ゼミ紹介

「沖縄戦に学ぶ人間の心理と行動」

国際文化学科教授 田中利幸

二〇〇一年度の二・三年生合同ゼミでは、
アジア太平洋戦争における最も激烈な戦闘
であった沖縄戦をテーマに学ぶことにしま
した。沖縄戦では実に十五万人もの沖縄住
民が、つまり県民の四人に一人がこの戦闘
の結果死亡しました。その上、沖縄に強制
連行された二万人にのぼる朝鮮人軍夫の中
からも多くの犠牲者が出ています。これは、
日米両軍の戦闘員の死亡者総数約八万人を
はるかに超える犠牲者数となっています。

ゼミでは、こうした沖縄での戦闘におけ
る生死をめぐる極限状況の中で起きた様々
な問題を検討、討議しながら、なぜ人は他
者を殺せるまでに残酷になりうるのか、人
間とは何か、民族とは何か、戦争の原因と
はなにかといった根本的な問題について考
え、討論しています。

藤原彰著『沖縄戦—国土が戦場になっ
たとき』（青木書店）をテキストに、毎週ゼミ
生二名がペアとなって沖縄戦をめぐる様々
な重要問題に関する発表を行い、その発表
をもとにグループ・ディスカッションをし
ています。同時に、関連のビデオ・ドキュ
メンタリーも教材として活用しています。
目下、沖縄へのゼミ旅行も計画中です。で
きれば、学習成果を秋の敬和祭で発表した
いと願っています。

人文社会科学研究所開所式

六月二〇日（水）十二時から「敬和学園大学人文社会科学研究所」の開所式が尋真館二階の共同研究室前で行われました。石川喜一研究所長（国際文化学科教授）をはじめ、学長、同研究所委員、学生の見守る中、真新しい看板がかけられました。

この研究所は本学教員全員を研究員として昨年九月に組織されました。一九九一年の本学創立以来自己点検・自己評価を二度にわたり実施した結果、人文科学と社会科学・自然科学が連携をとった学際的な新しい学問枠組みを本学として構築すべきだとの合意が得られました。また九七年以来、本学教員が「敬和フォーラム」の場で研究発表し、共同で議論を行ってきたという実績もあります。これらの経験を踏まえて、新しい研究所ではさらなる共同研究が進むことが期待されます。

研究所開所を記念して六月三十日（土）には、東京大学名誉教授渡邊正雄先生を講師にお迎えして「日本人の自然観－西洋との比較」を演題に「敬和フォーラム」が本学S二二教室で開催されました。



学事予告

◆七月◆

- 四 日 敬和ボランティア・デイ
- 六 日 豊栄市オープン・カレッジ ③
- 十三 日 前期講義終了
- 二十三日 豊栄市オープン・カレッジ ④
- 二十三日 前期末試験（～八月三日）
- 二十七日 豊栄市オープン・カレッジ ⑤
- ◆八月◆
- 三 日 豊栄市オープン・カレッジ ⑥
- 四 日 夏期休暇（～九月二十四日）
- 六 日 集中講義期間（～十日）

寄付者ご芳名

- 一 般
- 田村賢雄、伊藤清子、
- 本田明子、大学後援会、
- 北垣宗治、金山愛子
- 一九九一組 小野沢武晴、西田匠
- 一九九三組 丸山仁史、金子美由紀
- 一九九四組 齋藤豪芳
- 一九九五組 荒木陽子
- 一九九六組 長谷川政和、本多大峰
- 一九九七組 渡辺真智子、吉田桃子
- 二〇〇一組 山本恵嗣

キャンパス日誌

4月

- 1日 学年始め
- 2日 辞令交付
- 3日 入学式(写真)
保護者ガイダンス
大学後援会総会
大学後援会役員会
- 4日 新入生歓迎公開学術講演会
講演 川西進 東京大学名誉教授「人生の選択」
- 5日 新発田市役所新規採用職員19名見学
- 10日 前期講義開始
- 11日 教授会
- 13日 チャペル・アッセンブリー・アワー①
説教 北垣宗治 学長
「冷たいこと、熱いこと、なまぬるいこと」
講演 関谷裕子 先生(ゴスペル指導者)
「ゴスペル指導」
- 18日 大学教育会議⑥
- 20日 チャペル・アッセンブリー・アワー②
説教 上島一高 新潟教会牧師「路上の石が叫ぶ」
講演 上島一高 新潟教会牧師
高橋美香 ボランティア活動家
「路上は出会いの場所—路上生活者支援・越冬友の会の活動を通して」
- 26日 新入生オリエンテーション(～27日)
於: 胎内パークホテル



5月

- 8日 JCLP ホストファミリー説明会
- 9日 教授会
- 11日 チャペル・アッセンブリー・アワー③
説教 竹中正夫 同志社大学名誉教授
「竹林清風—日本文化とキリスト教」
- 14日 Japan Cultuer and Language Program (JCLP) (～6/10) (写真)
- 16日 大学教育会議⑦
- 18日 チャペル・アッセンブリー・アワー④
説教 延原時行 宗教部長「求めよ」
講演 渡辺浩一 福祉活動家
「社会の中のわたしの生き方」
- 24日 理事会・評議員会
- 25日 チャペル・アッセンブリー・アワー④
説教 延原時行 宗教部長「神の友情と目的」
講演 宇田川潔 事務局長
「ボスフォラス海峡を眺めながら」
- 31日 新発田市オープン・カレッジ1—①
講師 北垣宗治 学長
「文学にあらわれた異文化体験」
聖籠町オープン・カレッジ1—①
講師 松本ますみ 助教授
「『満映映画』に見る日本人の大陸表象」



6月

- 1日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑤
説教 金山愛子 助教授
「愛は決して失敗に終わることがない」
講演 北嶋藤郷 英語英米文学科長
「読み解かれる異文化」
- 5日 聖籠町オープン・カレッジ2—①
講師 杉村使乃 専任講師
「大人が見るディズニービデオ」
- 6日 教授会・人事教授会
新発田市オープン・カレッジ2—①
講師 田中利幸 教授
「戦争と平和を考える：近代日本戦争史の批判的検討」
- 7日 聖籠町オープン・カレッジ1—②
- 8日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑥
説教 矢嶋直規 助教授「魂の革命」
講演 延原時行 宗教部長
「何故「私は地球時代の良寛」を書いたか」
- 9日 スポーツ大会、JCLP 留学生送別会
- 12日 聖籠町オープン・カレッジ2—②
- 13日 大学教育会議③
- 14日 新発田市オープン・カレッジ1—②
聖籠町オープン・カレッジ1—③
- 15日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑦
説教 延原時行 宗教部長
「あなたの「何故」を呼ばれた方」
講演 中村浩美 国際的航空評論家
「宇宙と地球と私たち」
- 19日 聖籠町オープン・カレッジ2—③
- 20日 人文社会科学研究所開所式(写真)
新発田市オープン・カレッジ2—②
- 21日 新発田市オープン・カレッジ1—③
聖籠町オープン・カレッジ1—④
- 22日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑧
説教 山田耕太 教授
「パウロはオリンピックをみたか？」
講演 佐々木将宏 元ジュニア世界選手権日本代表
「シドニーを走った風の勇者たち～パラリンピック自転車競技に参加して」
豊栄市オープン・カレッジ①
講師 松崎洋子 教授「英語教育」
- 26日 聖籠町オープン・カレッジ2—④
- 28日 新発田市オープン・カレッジ1—④
- 29日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑨
説教 山崎ハコネ ボランティア主事「迷い出た羊」
講演 目崎薫 三寶寺住職
「人を助けるとはどういうことか？—ソーシャルワーカーとのカウンセリングの違い」
豊栄市オープン・カレッジ②
講師 延原時行 教授「道徳教育」
- 30日 人文社会科学研究所開所記念敬和フォーラム
講師 渡邊正雄 東京大学名誉教授
「日本人の自然観—西洋との比較—」

